

健康

元気のヒント



広瀬 憲志

徳島大学病院皮膚科助教

乾燥とは、皮膚が赤く盛り上がり、その表面に乾燥した白い垢が付着し、それがぼろぼろと剥がれ落ちてしまう皮膚の病気で、よくなったり悪くなったりを繰り返す慢性的の疾患です。

欧米で多い皮膚病ですが、近年は生活習慣の変化に伴い日本でも患者さんが増えていきます。日本では現在、人口のおよそ0.1%、約10万人の患者さんがいるといわれています。原因はまだ完全には分かっていませんが、ウイルスや細菌によるものではないので、人にうつる心配はありません。

乾燥は症状の進いによって、大きく以下のように分けられます。尋常性乾燥(最も多いタイプ)、関節症性乾

乾癬

癬(関節の痛みや炎症を伴うタイプ)、膿疱性乾癬(発熱や膿を持ち、発疹を伴うタイプ)、乾癬性紅皮症(ほぼ全身に赤みが広がるタイプ)などです。

乾癬は命に関わる病気ではありません。しかし乾癬の患者さんの中には、皮膚の症状や関節の痛みなどによる身体的なつらさだけでなく、人に肌を見られることによる精神的なつらさを感じられている方も少なくありません。

また通院や軟膏塗布に伴う治療の煩わしさを訴えられる方もいます。治療の目標として症状やライフスタイルに合った治療方法を見つけて、症状の改善、精神的な苦痛の緩和、QOL(quality of life: 生活の質)の向上を目指します。

現在、乾癬の治療は大きく分けて①外用薬

新しい薬剤が高い効果

◁77▷

法(塗り薬)②光線療法③内服療法(飲み薬)④生物学的製剤による治療(注射薬)の場が多くなっています。患者さんの喜びの声を耳にしたいです。

ただすべての患者さんに効くわけではなく、難点としてやや高価な治療であることが挙げられます。また多く他の三つの治療と組み合わせることもできます。

光線療法は人工的に紫外線を、発疹のある部分あるいは全身に照射する治療法です。内服薬は主に免疫抑制剤とレチノイド(ビタミンA誘導体)の二つがあります。

また食事や生活習慣の範囲が広い場合や塗り薬だけでは追いつかない場合に行います。取り過ぎや肥満は乾癬が悪化する要因であり、バランスのいい食生活が勧められます。

最後に、最近登場した生物学的製剤による治療ですが、点滴で投与する薬が1種類、皮下注射で投与する薬が2種類、計3種類の薬剤があります。乾癬が

発症する原因となる物質をリンゴ酸で抑えることで、皮膚や関節の症状を速やかに改善する効果があります。(第2土曜に掲載)

症状に応じ治療選択